

TOYOTA ENVIRONMENTAL CHALLENGE 2050



トヨタは、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の損失など、地球環境の問題に対し、これまでも広く取り組んできました。今後も環境への取り組みを通じて、SDGsの実現に貢献します。
(<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/environmental-policy/>)



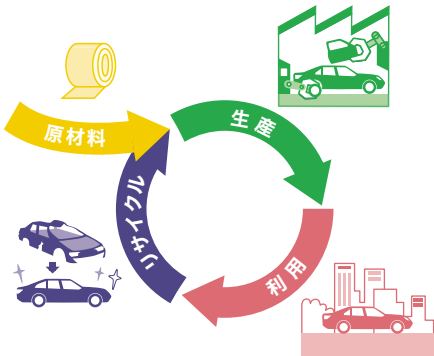
■ カーボンニュートラルの実現

トヨタは、「カーボンニュートラル」の実現のために、「つくる」「はこぶ」「つかう」「廃棄・リサイクル」など、クルマの一生を通して、CO₂排出量を削減する取り組みを進めます。



■ 究極の循環型社会をめざして

トヨタでは、廃棄物を減らし、再利用可能なものは繰り返し使用し、さらに廃棄物を再び資源化します。



■ 人と自然が共生するために

トヨタは、水使用による環境負荷を小さくするとともに、生物の多様性を取り戻すために、自然保全活動の輪を地域・世界とつなぎ、そして未来へつなぐ活動を進めます。



トヨタ bZ4X 環境仕様

車両型式		ZAA-XEAM11	ZAA-XEAM15
CO ₂ 排出量 (WLTC)	g/km	排出ガス規制の適用を受けない自動車	
排出ガス	適合排出ガス規制	平成28年騒音規制M1A3A	
車外騒音	規制区分	68/—/—	
騒音	加速(規制値)/定常/近接	HFO-1234yf (1※2)/700	
冷媒の種類 (GWP値※1)/使用量	g	自工会2006年自主目標達成 (1996年比1/10以下※3)	
環境負荷物質削減	鉛	自工会自主目標達成 (2005年1月以降使用禁止※4)	
	水銀	自工会自主目標達成 (2007年1月以降使用禁止)	
	カドミウム	自工会自主目標達成 (2008年1月以降使用禁止)	
	六価クロム	自工会自主目標達成 (厚生労働省室内濃度指針値以下)	
車室内VOC※5		電子基板・電気部品のはんだ、圧電素子 (PZTセンサー) 等に使用/ 鉛廃止済み部品: 電着塗料、燃料ホース、パワステ高圧ホース、ホイールバルancer、電球と点火プラグ、塩ビ・ゴム部品、バルブシート、軸受けなど	
環境負荷物質使用状況等	鉛	水銀廃止済み部品: コンビネーションメーター	
	水銀	六価クロムの使用無し/六価クロム廃止済み部品: 金属部品類やボルト・ナット類の防錆目的コーティング他	
	六価クロム	カドミウムの使用無し/カドミウム廃止済み部品: 電気・電子部品のICチップ基板、厚膜ペースト他	
	カドミウム	バンパーカバー・インストルメントパネル・その他内装材	
リサイクル関係	リサイクルしやすい材料を使用した部品	あり	
	樹脂、ゴム部品への材料表示	ダッシュサイレンサー等	
	リサイクル材の使用		

※1. GWP: Global Warming Potential (地球温暖化係数) ※2. フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度以降、環境影響度を製造者等ごとに出荷台数で加重平均した値が目標値150を上回らないことが求められております。 ※3. 1996年乗用車の業界平均1,850g (リサイクル回収ルートが確立されているため鉛バッテリーを除く)。 ※4. ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯 (交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)。 ※5. VOC: Volatile Organic Compounds